

事業の概要



* 事業の概要

市民の国際理解の推進を目的として、新潟県内の留学生、JICA海外協力隊員を講師として各団体へ派遣し、各国の文化や体験談を紹介します。

* 実施期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

* どんなことができるの？

事業の活用方法は様々です。各団体のねらいに沿った講義ができます。講義時間は、1時間から3時間を目安に行っています。

(具体的な講義内容は、講師プロフィールや活動例をご覧ください。)

* どこでできるの？

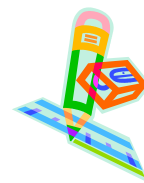
講師が各団体に伺います。講義の内容により、教室や会議室、体育館、調理室、または屋外で行うこともできます。

* 費用はかかるの？

講師への謝金と交通費は国際交流課が負担します。

講義で使用する設備の準備は各団体でお願いします。

また、講師の食事代等(必要となった場合)や、調理実習などの体験活動で材料が必要な場合は、実費を各団体にご負担いただきます。



* その他

○各団体への訪問は、講師のほか、当センタースタッフが訪問します。

○活動中、写真を撮影させていただきます。撮影された写真は、そのまま当事業のパンフレット等に使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。(掲載を希望されない場合はお知らせください)

○講師の写真を、広報等で使用する際には、講師の許可を得る必要があるため、あらかじめ御連絡ください。

プレスリリースや事業実施後の広報等を行う際には、当事業を活用したことを明記してください。

事業実施の流れ

申込み

「講師紹介要請書」を国際交流センターへ送付

申請期限は実施日の
・30日前まで
（留学生講師）
・45日前まで
（海外協力隊講師）

講師の人選

国際交流センターが、講師へ日程調整・
講義内容の概要連絡
（海外協力隊についてはJICAと連携）

講師の決定

国際交流センターが、最終決定講師を
各団体へ連絡

授業内容等の打合せ

事業の実施

報告

- ・「事業実施報告書」を20日以内に国際交流センターへ提出
- ・海外協力隊講師派遣の場合、追加で「JICA国際協力出前講座アンケート」を1週間以内に国際交流課へ提出

ご相談・お問い合わせ

長岡市国際交流センター

「世界が先生－国際人育成事業」

〒940-0062 長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター1階

電話：0258-39-2714 Fax：0258-39-2715 Email：kouryu-c@city.nagaoka.lg.jp



独立行政法人 国際協力機構

国際協力 出前講座

JICA海外協力隊員に
講演をしてもらおう



教育の力で長国
熱中！感動！高い教育

世界が先生



Q: どんなことができるの？

A: 開発途上国の現場での実体験に基づいた話を聞くことができます。国際協力や途上国の文化や暮らしの紹介、キャリア教育など内容、時間に応じて講座を組み立てることができます。また、SDGsについての講話も聞くことができます。講座例は次ページをご覧ください。



Q: 対象は？

A: 小学校以上の教育機関からの申請を受け付けます。



Q: 費用はかかるの？

A: 講師への謝金と交通費は国際交流課が負担します。講座で使用する設備の準備は各団体でお願いします。

その他

- 講師が決まり次第、講師の連絡先をお伝えします。
必ず講師とメール等で事前の打ち合わせを行ってください。
- 一度に呼べる講師は一人までです。

JICA新潟デスク 中村 史さん からのメッセージ

開発途上国や国際協力って、「貧しい国」、「難しい・・・」、「他の誰かが行う」ものでしょうか。

いえいえ、開発途上国は、豊かな文化や人々の魅力にあふれた国々で、我々と同じ暮らしがあります。また、それらの国が抱える課題は、固有ではなく、日本と共通だったり、お互いに深く関係しています。そして、課題に挑戦する「国際協力」は、誰でも今日から様々な形で取り組めると、我々は思っています。「ほんとうかな？」と興味をわいた皆さん、是非一緒に考えてみませんか。





① 自己紹介

- ・現地語でのあいさつや自己紹介
- ・現地語の文字の紹介
- ・協力隊に参加したきっかけ など



JICA海外協力隊が派遣されている国の数は？
これまでどの位の人が参加した？

② JICAって知ってる？

活動内容や目標などわかりやすく紹介

③ 派遣国の紹介

- ・〇〇国のここがすごい！
- ・〇〇国と日本とのつながり
- ・現地で見かける日本のもの
- ・戦争や移民など歴史的な関わり など

例) パプアニューギニアのここがスゴイ！

- 1位 800の部族、800の言語
- 2位 選挙の投票率200%越え!?
- 3位 エルメスが認めた

国民的カバンビルム



④ 活動紹介

派遣国、配属先の課題 (SDGsの視点)

- ・どんな開発課題があったか。
- ・解決するためにどんな活動を行ったか。
- ・どんな変化があり何を残せたのか
- ・自分自身何を得たのか など

⑤ 終わりに

海外協力隊活動を通じて、考えたことや自分自身の変化

- ・自分自身が考える国際協力
- ・海外協力隊の位置付けや役割
- ・海外協力隊、国際協力の必要性
- ・みんなにできること
- ・子どもたちへのメッセージ など

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



※紹介したものは一例であり、内容は講師により変わります。
ご希望があれば、申請時または講師に直接ご相談ください